

／ ライフケアサポート情報誌 ／

# こもれび

K O M O R E B I

干支と共に飛躍の1年に!



社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 鹿児島県済生会  
済生会鹿児島地域福祉センター

〒890-0031 鹿児島市武岡5丁目51番10号

TEL.099-284-8250 FAX.099-284-8252

□ <http://www.saiseikai-kg.jp>

2023

vol.40

新年号



# 「努力が実り始める卯年」を迎えて

済生会鹿児島地域福祉センター所長

吉田 紀子



新年明けましておめでとうございます。

今年は遠く外国で、厳寒期中、戦火や停電に極限の生活を強いられておられる方々に一日でも早く安心安全な日常が戻りますことを祈りつつ迎える新年となりました。

わが国においては、新型コロナウイルス感染症第8波真っ最中の新年ですが、皆様におかれましては夫々にお気持ち新たに新たな年をお迎えのことと存じます。

済生会鹿児島地域福祉センターでは特別養護老人ホーム、グループホーム、ケアハウス、サービス付高齢者住宅にご入所、ご入居の皆様、通所介護や訪問介護等のご利用者様もお元気で新年をお迎えになり、職員一同何よりと嬉しく思っております。

済生会鹿児島地域福祉センターは、これまで南林寺町にあります済生会鹿児島病院と密接な連携(済生会鹿児島地域包括ケアセンター)の元、さらに市内の他医療機関との連携の元、地域福祉センターの入所・入居者の方々が一時的に医療が必要となられた場合も速やかに医療を受けられる体制を取ってまいりました。そのおかげで新型コロナウイルス感染症の発生時も安心して施設内療養ができました。

さらに令和4年には鹿児島病院に認知症や在宅医療の専門家である黒野明日嗣先生に在宅医療推進室長としてご入植いただき、鹿児島病院のみならず地域福祉センターにおいても医療サービスが量・質ともに充実して参りました。

一方で、地域福祉センターでは介護に加えて常時の医療を必要とされる場合は未だ入所をお断りせざるを得ない場合もあり、残された課題となっております。

これに対し、令和4年11月1日、鹿児島病院に、日常的に介護と同時に医療を受けられる施設である「介護医療院」が開設されました。

このことにより、済生会鹿児島地域包括ケアセンターでは、鹿児島病院と鹿児島地域福祉センターとの密な連携のもと、医療から介護・生活支援・看取りにいたる切れ目のないサービスの提供が可能となりました。利用者様にとっては病院と介護施設を頻回に往来する不便さも減りました。

今号では済生会鹿児島病院院長の久保園高明先生に済生会鹿児島病院に新設された介護医療院について、また、済生会鹿児島病院在宅医療推進室長の黒野明日嗣先生に、より良い認知症ケアや在宅医療支援の取り組みについて詳しくご紹介いただきます。

済生会は令和4年度に、創立111周年にあたり、今後10年間の済生会の基本的あり方を検討した委員会報告書を作成し、これまでの3つの使命(生活困窮者支援、地域医療支援、医療介護福祉の一体的支援)に加えて共生地域社会づくり(ソーシャルインクルージョンに基づくまちづくり)の推進をうたいました。

2022年12月8日の南日本新聞で鹿児島県内の高齢孤独死が過去最多の96人であったことが県議会で明らかにされたことが報道されました。

鹿児島県内でも近年単身高齢者が増えてきており、2020年の国勢調査では、一般世帯に占める割合は16.4%で全国2番目に多く、今後も増加することが予測されています。

単身高齢者の内でも特に身寄りのない方は孤立・孤独死の危険性が高いと危惧されます。

そこで、このような社会的課題に対して、済生会鹿児島地域包括ケアセンターでは、身寄りのない単身高齢者等の孤立・孤独死を予防するため、2020年度から「身寄りのないおひとり様終活支援プロジェクト」を立ち上げ、在宅で生活しておられる身寄りのない単身高齢者の支援ニーズ調査と対応策の検討に取り組んでいます。

その支援ニーズは相談窓口の設置、身元保証人の確保、医療機関・介護福祉施設の受け入れ、生活保護等の公的支援のほかに、相談できる仲間づくり、困った時の互助の仕組みづくり、看取りや死後の対処まで可能な互助の仕組みづくり等の手段的支援と併せて、不安や寂しさを抱えて生活しておられる身寄りのない単身高齢者等の気持ちに共感し励ましてくれる仲間や知人等の情緒的支援網が必要であること等が示唆されました。

そこで済生会鹿児島地域包括ケアセンターの構成組織である済生会鹿児島地域福祉センターと鹿児島病院は、今後更に一体化し、人生途上で困っている方々は勿論、特に心身共に虚弱となる人生の高齢期と人生の完結を誰しもが悔いなく不安なく迎えられるように、公助と自助のみならず地域の皆が助け合って互助・共助の仕組みづくりの推進などソーシャルインクルージョンの地域社会づくりにも貢献したいと願っております。

2023年は十二支でいうと「卯年」、干支は「癸卯」です。「卯」には「春の訪れを感じる」「冬の門が開き飛び出る」という意味があり、「癸卯」は「これまでの努力が花開き、実り始めること」という縁起のよさを表しているといわれています。

人生100年時代となり、済生会鹿児島地域福祉センターは今年も鹿児島病院とともに、また市内の医療・介護福祉機関はじめ関係者の皆様とともに、誰もがより生きやすい共生地域社会づくりをめざし、ご利用者様、ご家族様、そして地域の皆様方と力を合わせてさらなる飛躍に向けて頑張りたいと思います。皆様方の今年のご健康とご多幸を職員一同お祈り申し上げます。今年もどうかよろしくお願い申し上げます。

令和5年元旦



## 「医療と介護の調和」を目指して

～「済生会かごしま介護医療院」のご紹介～

済生会鹿児島病院院長 久保園 高明



あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

昨年11月済生会鹿児島病院は病院に併設して「済生会かごしま介護医療院」を開設しました。これにより社会福祉法人恩賜財団済生会の三つの目標の一つで、かつ最近厚生労働省が推進している「医療から介護への切れ目ないサービス」を提供する体制が整いました。「介護医療院」は病院で治療を受けた患者さんが、自宅あるいは介護福祉施設に退院して療養できるようになるまでの間、医療と介護をバランスよく提供する施設です。すなわち医療と介護の間の切れ目の部分を埋める大変重要な役割を持つ施設です。

急性期病院での高度な医療⇒当院「地域包括ケア病棟」でのリハビリ中心の回復期医療⇒「介護医療院」での医療と介護の提供⇒自宅への退院または「鹿児島地域福祉センター」への入居・入所という理想的なスキームが完成したわけです。

厚生労働省は、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目処に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築をめざしています。鹿児島地域福祉センターと当院が機能的に一体化した「済生会鹿児島地域包括ケアセンター」にはこの構想の実現に向かって大きく前進しました。

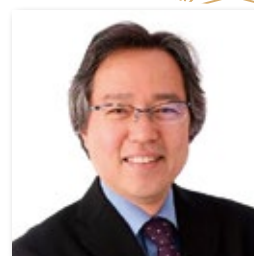
このシステムを患者さんご本人、ご家族、地域の方々にご理解いただきながら、関連医療機関の先生方や職員の方々、ケア・マネージャー、ソーシャル・ワーカー、保健師さんなどと密接に連携しながら、患者さんが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう支援していきます。

令和5年はうさぎ年です。済生会鹿児島病院は「済生会かごしま介護医療院」の開設をバネに、済生会地域福祉センターと共に「医療から介護への切れ目ないサービス」の提供、すなわち「医療と介護の調和」を目指して、大きく飛び跳ねたいと考えています。



## これからの在宅医療

済生会鹿児島病院 在宅医療推進室長 黒野明 日嗣 医師



皆さん、あけましておめでとうございます。そして、初めまして。

済生会鹿児島病院の在宅医療推進室長の黒野と申します。昨年の4月より勤務しております。元々は脳神経内科医ですが、15年間の老健施設長の経験から認知症の方のケアの医学的な説明や認知症の診断、治療、一般内科全般を診療しています。済生会地域福祉センターには訪問診療を担当させていただいており、高喜苑は全員、なでしこの杜、武岡ハイランド、武岡5丁目は一部のご利用者の主治医を勤めさせていただいております。8ヶ月が経過して感じるのは、90歳以上の元気な方の多いこと。スタッフの行き届いたケアに対して医療はなるべく少ない薬で安定できるように努めております。

高齢になると年齢÷10個の病気を持っているといわれています。全部を各科の専門家の言うとおりに治療すると膨大な薬の量になってしまいます。内服する薬が6個を超えるとお薬同士の副作用を生じると言われていますので、なるべく6種類に収まるよう患者さんの具合や優先度合いで調整しています。施設スタッフと相談して、薬以外の方法で症状を改善する努力もしています。例えば、寝たきりで胃瘻を増設している患者は自分の唾液を誤嚥して肺炎を起こしやすい状態にあります。唾液は一日1リットルも分泌されますので、それが上手く喉を通して、気管に入ることなく食道に流れるように30度のベッドアップをお願いしています。口腔ケアは肺炎を予防するのに効果があります。いずれも100%の効果ではありませんが薬では出来ない予防方法なので実践してもらっています。

もしも入院が必要になった場合はなるべく軽症のうちに入院をお勧めしています。早めに入院することで、重症化を防ぎ、少ない薬と短い入院期間で退院につなげることが出来ます。現在スタッフを試行錯誤中ではありますが、2週間前後の期間で退院できることを目指しています。もちろんご希望の病院がある場合は紹介いたしますし、急性期の高度治療が必要な場合、骨折の場合はふさわしい病院をご提案させていただきます。人生の終末期になってきますと残念ながら入退院の頻度が増えてしまいます。医療が頻繁に必要な場合は、昨年11月に開院しました済生会かごしま介護医療院で医療とケアを受けることができるようになりました。（済生会鹿児島病院内の3階に12床あります）現在スタッフとともに、ご本人が希望する最期を迎えられるように環境を整えているところです。

済生会の強みはこのように高齢者の人生を最後まで支える仕組みが整っているところです。

人の死亡率は100%、必ずいつか最期がきます。令和3年のデータであと何年生きられるか（平均余命）を見てもみると、80歳で男性9年・女性12年、85歳で男性6年半・女性で8年半、90歳で男性4年半・女性6年弱です。最期をどのように迎えるのか、縁起でもない話と言わずに必ず起こることに対して話し合っておく必要があります。ぜひ親戚一同集まる機会に本人と直接話す、本人が話せないならお母さんなら、お父さんならこう希望するはずだと話し合っているかがでしょうか。医療はいろいろな技術がありますが、それを人生の最後の段階に適用するかどうかは医師の判断ではなく、本人のご希望に（法律上は）なります。私たちはすべての方法に対応する事が出来ますので、是非教えてください。スタッフ一同全力でその決定を支援していきます。

今年一年が皆様にとって有意義な年になりますように。スタッフ一同支援していきますのでどうぞよろしくお願いいたします。



## 済生会鹿児島地域福祉センターはこんなとこ



当センターは、社会福祉法人恩賜財団済生会の鹿児島県支部に属します。

済生会は、明治天皇が生活困窮者を救済するために明治44年に創設されました。

皇室との縁のなか、平成25年4月からは、秋篠宮殿下が済生会の第6代総裁に御就任されています。

済生会鹿児島地域福祉センターには、高齢者の入所施設や住まい、介護保険の通所事業所や訪問事業所があります。

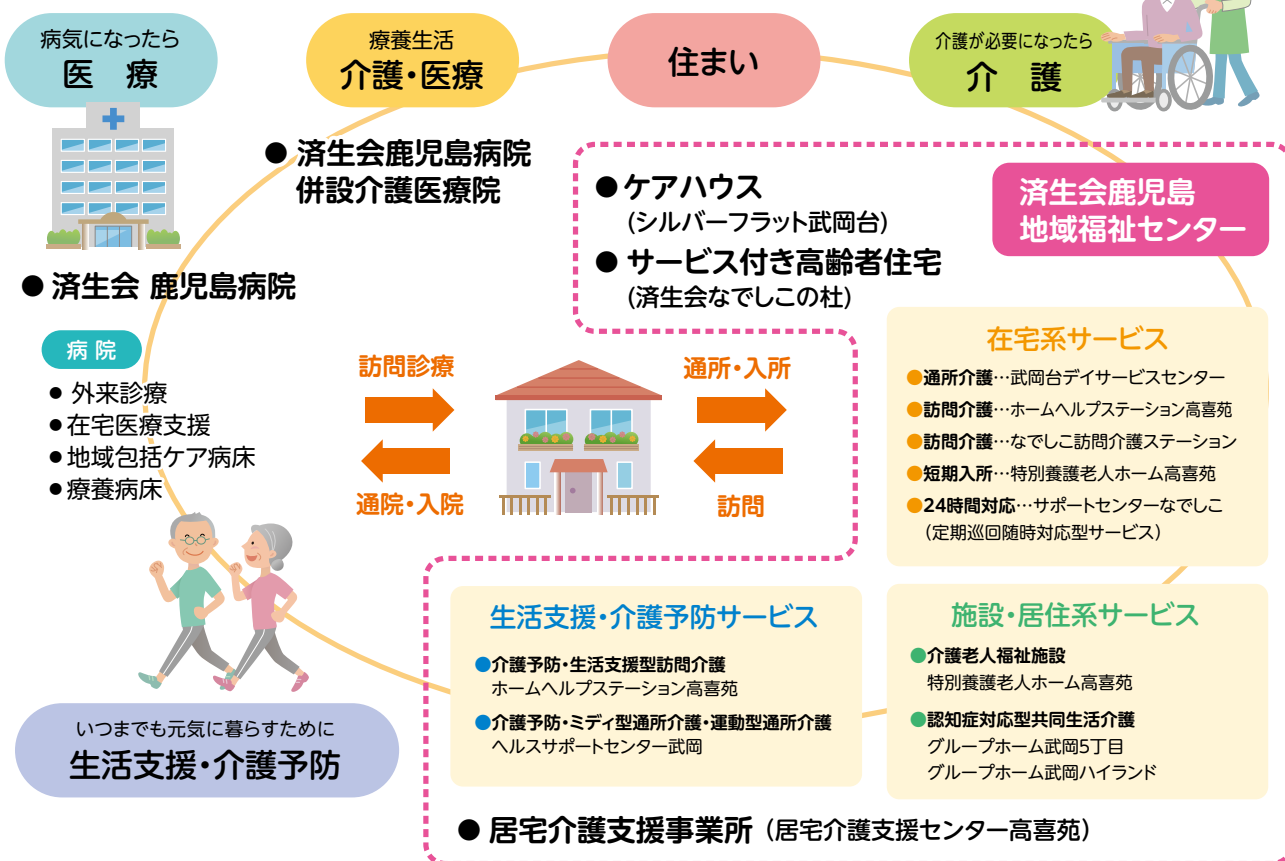
鹿児島県内、地域の高齢者の皆様やそのご家族が安心して生活できるよう、

済生会鹿児島病院と地域包括ケアセンターを構築し、

地域包括ケアシステムの礎となるべく、多職種の職員が業務にあたっています。

～住み慣れた地域で自分らしく暮らすために～

### 済生会鹿児島地域包括ケアセンター



#### 福祉センター職種別人数

| 介護職員 | 看護師 | ケアマネジャー | 管理栄養士 | 生活相談員 | 理学療法士 | 作業療法士 | 介助員 | 事務員 | 他   | 計    |
|------|-----|---------|-------|-------|-------|-------|-----|-----|-----|------|
| 87人  | 19人 | 8人      | 2人    | 5人    | 7人    | 1人    | 8人  | 8人  | 16人 | 161人 |

職員数は161人です。

(R4年12月現在)

多くの職員が従事しています。

今年も職員一同、センター飛躍の年となるよう

努めて参ります。

どうぞよろしくお願いいたします。

一緒に働く仲間も  
募集中です!



済生会鹿児島地域福祉センター



## 接遇標語コンクール 入賞標語

サービス向上委員会では、サービス向上に関する事項全般について話し合いを重ねています。その中でも「サービス向上に向けた標語」は、毎年4月に全職員へ作成を呼びかけ、その中から12の標語を選出し毎月の標語として、各事業所へ掲示します。これは、職員一人一人の接遇やサービス向上に向けた意識の向上を目的としています。

2022年度接遇標語コンクール  
最優秀作品

気配り目配り思いやり  
気づきはすぐに改善へ

特別養護老人ホーム高喜苑  
内山 聡子さん

2022年度接遇標語コンクール  
優秀作品

立ち止まり  
目線合わせて意思確認

なでしこ訪問看護ステーション  
川畑 まゆみさん

2022年度接遇標語コンクール  
入選作品

合ってます？  
その時、その場面に  
その言動

ホーヘルフステーション高喜苑  
原口 正広さん

2022年度接遇標語コンクール  
入選作品

忙しくても忘れないで  
優しい声かけ  
素敵な笑顔

グループホーム武岡う丁目  
谷山 真由美さん

2022年度接遇標語コンクール  
入選作品

その介護「業務」になって  
いませんか？  
人として相手を尊う  
姿勢が基本です。

居宅介護支援センター高喜苑  
牧山 千鶴子さん

2022年度接遇標語コンクール  
入選作品

日々丁寧  
きつと笑える  
最後の日

特別養護老人ホーム高喜苑  
山下 直也さん

2022年度接遇標語コンクール  
入選作品

気づいたら  
後に回すな  
今でしょう！

済生会なでしこの杜  
有村 富美代さん

2022年度接遇標語コンクール  
入選作品

マスクから  
伝わるやさしさ  
目元から

特別養護老人ホーム高喜苑  
上村 和枝さん

# 定例のご利用者満足度調査を実施しました

## 第14回 利用者満足度調査 集計結果

【実施対象者】福祉センターサービス利用者若しくはその家族

【実施期間】令和4年7月10日～令和4年8月31日

【回収方法】返送（返信用封筒にて）

### ご利用（入居）者及びご家族の皆様へ

当センターが皆様に満足いただける福祉サービスを提供することを目的に実施した「第14回 利用者満足度調査」にご協力頂きありがとうございました。

お寄せいただいた貴重なご意見・ご要望につきましては、職員で共有し改善に向けて取り組んで参りますので、今後とも皆様方のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

済生会鹿児島地域福祉センター所長

### 1 調査基本情報

|        | 人数    |
|--------|-------|
| 調査票配布数 | 628   |
| 調査票回収数 | 408   |
| 回収率    | 65.0% |

### 2 利用者基本情報

|     | 人数  |
|-----|-----|
| 男   | 121 |
| 女   | 263 |
| 無回答 | 24  |
| 合計  | 408 |

### 3 設問別 選択肢選択件数

【共通設問】

|    | ①  | ②  | ③   | ④   | ⑤     | 無回答 | 合計    |
|----|----|----|-----|-----|-------|-----|-------|
| 問1 | 0  | 0  | 71  | 46  | 285   | 6   | 408   |
| 問2 | 0  | 4  | 57  | 61  | 281   | 5   | 408   |
| 問3 | 2  | 0  | 57  | 47  | 291   | 11  | 408   |
| 問4 | 2  | 2  | 61  | 51  | 282   | 10  | 408   |
| 問5 | 2  | 5  | 70  | 54  | 267   | 10  | 408   |
| 問6 | 8  | 13 | 78  | 69  | 229   | 11  | 408   |
| 問7 | 2  | 2  | 55  | 55  | 280   | 14  | 408   |
| 問8 | 4  | 4  | 46  | 65  | 269   | 20  | 408   |
| 問9 | 11 | 4  | 62  | 86  | 234   | 11  | 408   |
| 小計 | 31 | 34 | 557 | 534 | 2,418 | 98  | 3,672 |

※①良くない ②やや良くない ③普通 ④ほぼ良い ⑤良い

### 4 評価（満足度）

【共通設問の評価】

※「共通設問の評価」の算出方法  
については次のとおり

$$\frac{(\text{④と⑤の合計}) \times 100}{(\text{合計} - \text{無回答数})}$$

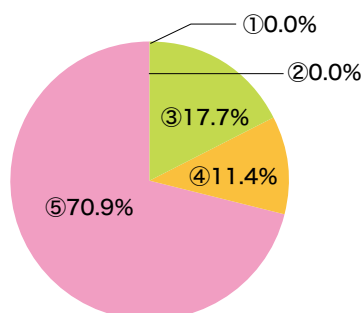
82.6%



## 【第14回 利用者満足度調査 質問別結果】

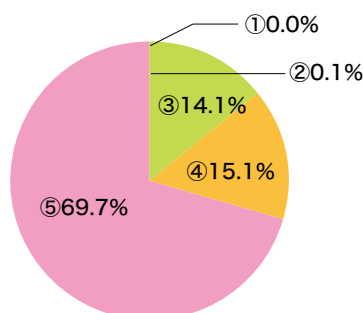
①良くない ②やや良くない ③普通 ④ほぼ良い ⑤良い

問1 職員の身だしなみは適切ですか？



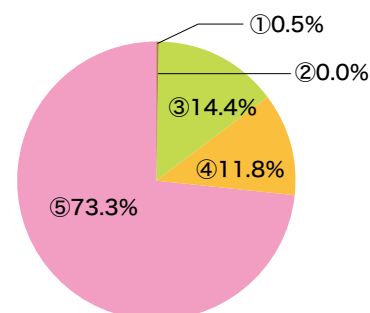
満足度 82.3% 不満足度 0.0%

問2 職員の言葉使いは適切ですか？



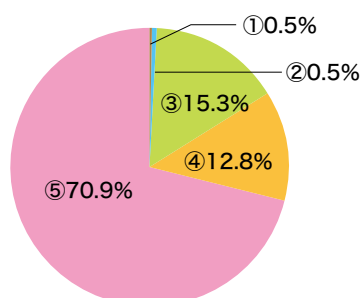
満足度 84.9% 不満足度 1.0%

問3 職員はご利用者及びご家族のプライバシーに配慮していますか？



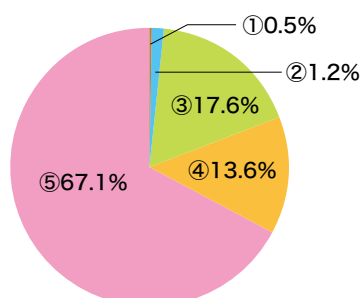
満足度 85.1% 不満足度 0.5%

問4 職員はご利用者及びご家族の考え方や意向を尊重し要望を丁寧に聞き、迅速・適切な対応をしてくれますか？



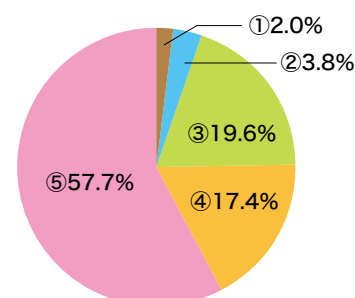
満足度 83.7% 不満足度 1.0%

問5 職員又は法人窓口はご利用者及びご家族の不満や要望を丁寧に聞き、迅速・適切な対応をしてくれますか？



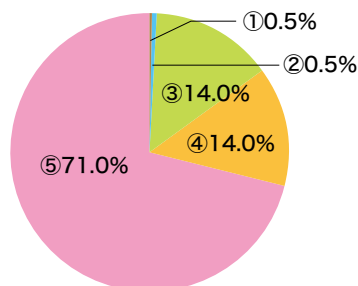
満足度 80.7% 不満足度 1.8%

問6 職員はお互いに連携が取れていて情報が良く伝わっていますか？



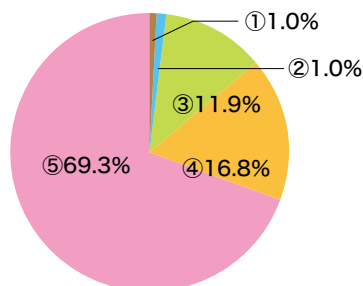
満足度 75.1% 不満足度 5.3%

問7 職員はご利用者の体調不良や怪我等の事故が起きた時に適切な対応をしてくれますか？



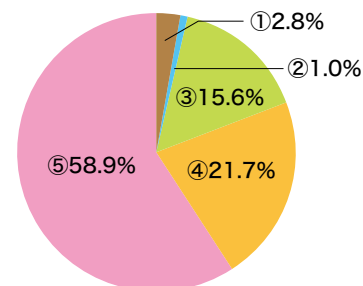
満足度 85.0% 不満足度 1.0%

問8 サービスの利用開始(入居)時に契約書やサービス内容について詳しく説明を受けましたか？



満足度 86.1% 不満足度 2.1%

問9 今利用している施設やサービスを友人や知人に紹介したいと思いますか？



満足度 80.6% 不満足度 3.8%

今回の調査で問6の【連携と情報共有に関する回答】では、不満足度が5.3%となりました。前年度の4.6%から0.7%比率が増加しており、細やかな連携・情報共有の必要性を感じております。問1.問2の【接遇に関する回答】では、「良くない」と言った回答もなく満足度も85%という結果となりました。今後もご利用者・ご家族の思いを大切に、真に安心したサービスをご利用いただけるよう、事業所・職員一同更なるサービス向上に努めて参ります。

# キラ人

紹介

済生会鹿児島地域福祉センターのご利用者様の中には聴覚障害の方々もいらっしゃいます。聴覚障害の方々の言語『手話』、それは手指の動きだけではなく表情、口の動きなどからも情報を得て通じる言語

です。コロナ禍となってマスク着用が日常になってしまった今、表情が読み取り辛くさらに不便な思いをされている聴覚障害の方々。当センターには手話ができる職員が数名います。今回は、最近手話の勉強を一緒に始めた職員二人をご紹介します。

田代順子さんは、武岡台デイサービスで看護師として働いています。以前の同僚で現在ホームヘルプステーション高喜苑にサービス提供責任者として勤める、原之園つぐみさんに誘われて手話を始めました。二人とも利用者として来てくださっている聴覚障害をお持ちの方々と筆談やジェスチャーでやり取りしていましたが「もっとちゃんとコミュニケーションを取りたい」と一念発起。「誰かと一緒に頑張れそう」とお互い誘い合って鹿児島市の講習会に参加し、DVD、ユーチューブ(動画視聴)などを繰り返し見て学んでいます。習いたての頃は「表情豊かに、オーバーリアクションで」と講師の先生からよく言われ少し恥ずかしいと思ったこともありましたが。最近は、手話をしている自分をスマートフォンで動画撮影して確認しながらの練習もしています。「手話講習会では手話だけではなく聴覚障害のことや手話の歴史なども学ぶことができて視野が広がった」そうです。



デイサービスの利用者とのコミュニケーションだけでなく、聴覚障害の子どもさん達への絵本の読み聞かせのサークルに入ったりと手話での活動が広がっている田代さん



デイサービスで聴覚障害の方には伝わり辛い『歌』を手話を使って歌い、他の利用者様とも一緒に楽しめるようにしたら、表情豊かに表現するからか他の利用者にもとても好評で「聞こえる、聞こえない関係なく、一緒に楽しんで喜んでもらえて嬉しかった」と原之園さん。

「手話で会話ができると自分も嬉しいが相手も楽しそうにしてくれるから、もっと学びたい」とお二人。色々な人の思いを知りたい、関わりたいという二人の思いはさらに膨らんでいます。

## 変わり湯を提供

▶ 武岡台デイサービス

12月に入り、特に朝晩がより冷え込んできています。武岡台デイサービスセンターでは、毎年12月に入ると、敷地内に植えてある夏みかんを湯舟に浮かべた「かんきつ湯」をご利用者様に提供しています。かんきつ湯には、寒い時季こそ入りたい美容・健康効果があります。主な効果をご紹介します。



- 水道水のお湯と、ゆず湯・みかん湯などのかんきつ湯に入浴した場合では、かんきつ湯の方がより体温も上がりやすく、保温効果も続きやすい効果があります。これは、かんきつ系の香り成分「リモネン」の新陳代謝を促す効果をはじめとする、かんきつの実や皮に含まれる成分や香り成分などの効果が少しずつ混ざり合って表れたものと考えられており、冷え性の方にもピッタリの入浴法なのです。
- 「リモネン」は、体内に吸収されるとリラックスさせる効果があるとされています。また、自律神経を刺激して活動や休息をつかさどる交感神経を活発にさせ、新陳代謝を促すのでリフレッシュ効果も期待できます。
- 「リモネン」には、皮膚に膜を作って、肌の水分を蒸発させずにキープする保湿効果も見られます。また、かんきつ類に豊富に含まれる「ビタミンC」には、水道水の影響からお肌を守る働きあり、お肌がしっとりするように感じられるのです。

今年も恒例の「かんきつ湯」が始まると、一年の月日の経過をしみじみと感じる事が出来ます。世の中では、感染対策が切っても切れない生活が続いています。ご利用者様には、少しでも、リフレッシュとリラックスを感じていただき、元気に年を過ごしていただきたいと考えております。



## コスモス散策

▶ 特別養護老人ホーム 高喜苑

高喜苑では、コスモスの咲く時期に合わせて毎年コスモス散策に出かけます。

今年は、コロナ禍という事で、施設から車で20分ほどにある「都市農業センター」に入所者様2~3人ずつに分かれて行いました。

少人数ということもあり、いつもより実施日数が必要で天候にも左右され、当日の判断で進めていくしかありませんでしたが、職員間で話し合いひと月かけてほとんどの利用者様をコスモス散策にお連れする事ができました。秋空の下、一面のコスモス畑をゆっくりと散策することができ、「きれいだね」と言いながら手を伸ばされる姿もみられ、その時の笑顔が印象的でした。

苑にもどってからは、和菓子とお茶を召し上がられ、スタッフと笑顔でコスモスの話をされる様子もありました。コロナ禍で外出や面会・行事などに制限がありますが、ご入居者様の笑顔を引き出せるよう今後も支援を行っていききたいと思います。





## 〈基本理念〉 「救療済生」の済生会精神に則り、福祉に貢献する。

### 〈基本方針〉

1. 私達は、利用者から信頼され、満足していただける介護・福祉を目指して、常に利用者の立場に立ち、利用者の気持ちになって介護を行います。
2. 私達は、利用者の権利を尊重し、その意思に添えるよう努めます。
3. 私達は、常に利用者の安全に気を配り、安心して介護が受けられるように努力します。
4. 私達は、最新の介護知識や介護技術の習得に研鑽します。
5. 私達は、地域の人々と交流を図り、人々が求めている要望に応えられるよう努力します。

### 〈利用者の権利〉

1. その人格を尊重される権利があります。
2. 社会的地位・国籍・人種・宗教・性別などにより差別を受けることなく、公正・平等に介護を受ける権利があります。
3. 自分が受けている介護に関するすべての情報について知る権利があります。
4. 自分に関するすべての個人的情報を守ってもらう権利があります。

#### 特別養護老人ホーム 高喜苑

〔介護老人福祉施設・短期入所生活介護事業所〕

〒890-0031 鹿児島市武岡5丁目51番10号

TEL 099-284-8253 FAX 099-284-8252

#### シルバーフラット武岡台

〔軽費老人ホーム／ケアハウス〕

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

TEL 099-283-6870 FAX 099-283-6871

#### 済生会なでしこの杜

〔サービス付き高齢者向け住宅〕

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

TEL 099-202-0710 FAX 099-283-4733

#### 指定居宅介護支援センター高喜苑

〔指定居宅介護支援事業所〕

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

TEL 099-283-4737 FAX 099-283-4733

#### グループホーム武岡5丁目

〔認知症対応型共同生活介護事業所〕

〒890-0031 鹿児島市武岡5丁目16番23号

TEL 099-282-6081 FAX 099-283-3533

#### グループホーム武岡ハイランド

〔認知症対応型共同生活介護事業所〕

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

TEL 099-283-7231 FAX 099-283-7232

#### 武岡台デイサービスセンター

〔指定通所介護・予防型通所介護事業所〕

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

TEL 099-283-6880 FAX 099-283-6872

#### 済生会ヘルスサポートセンター武岡

〔ミニデイ型通所介護・運動型通所介護事業所〕

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

TEL 099-283-6880 FAX 099-283-6872

#### なでしこ訪問看護ステーション

〔指定訪問看護事業所〕

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

TEL 099-281-9292 FAX 099-283-4733

#### ホームヘルプステーション 高喜苑

〔指定訪問介護・予防型訪問介護事業所〕

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

TEL 099-283-6875 FAX 099-283-6876

#### 済生会サポートセンターなでしこ

〔定期巡回随時対応型訪問介護看護事業所〕

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

TEL 099-283-6875 FAX 099-283-6876

#### 鹿児島県済生会

〔支部〕

〒890-0031 鹿児島市武岡5丁目51番10号

TEL 099-210-5460 FAX 099-210-5560

## 編集 後記

私の勤務する住宅で先日開設当初から入居されていた、大大先輩のご婦人が104歳という1世紀過ぎの生涯を終えられました。この日、ご本人の最後の連絡を介護士から受けた私が居室へ向かう時に、住宅の有線放送から、なんと「アメイジング・グレイス」の音楽が流れたのです。この曲が「讃美歌」である程度のことは私も理解していましたが、何か心揺さぶられる一瞬となりました。…長い間、一緒に過ごして頂き有難うございました。